

オンライン授業に関する アンケート結果の紹介

東京大学 情報基盤センター

田浦健次郎

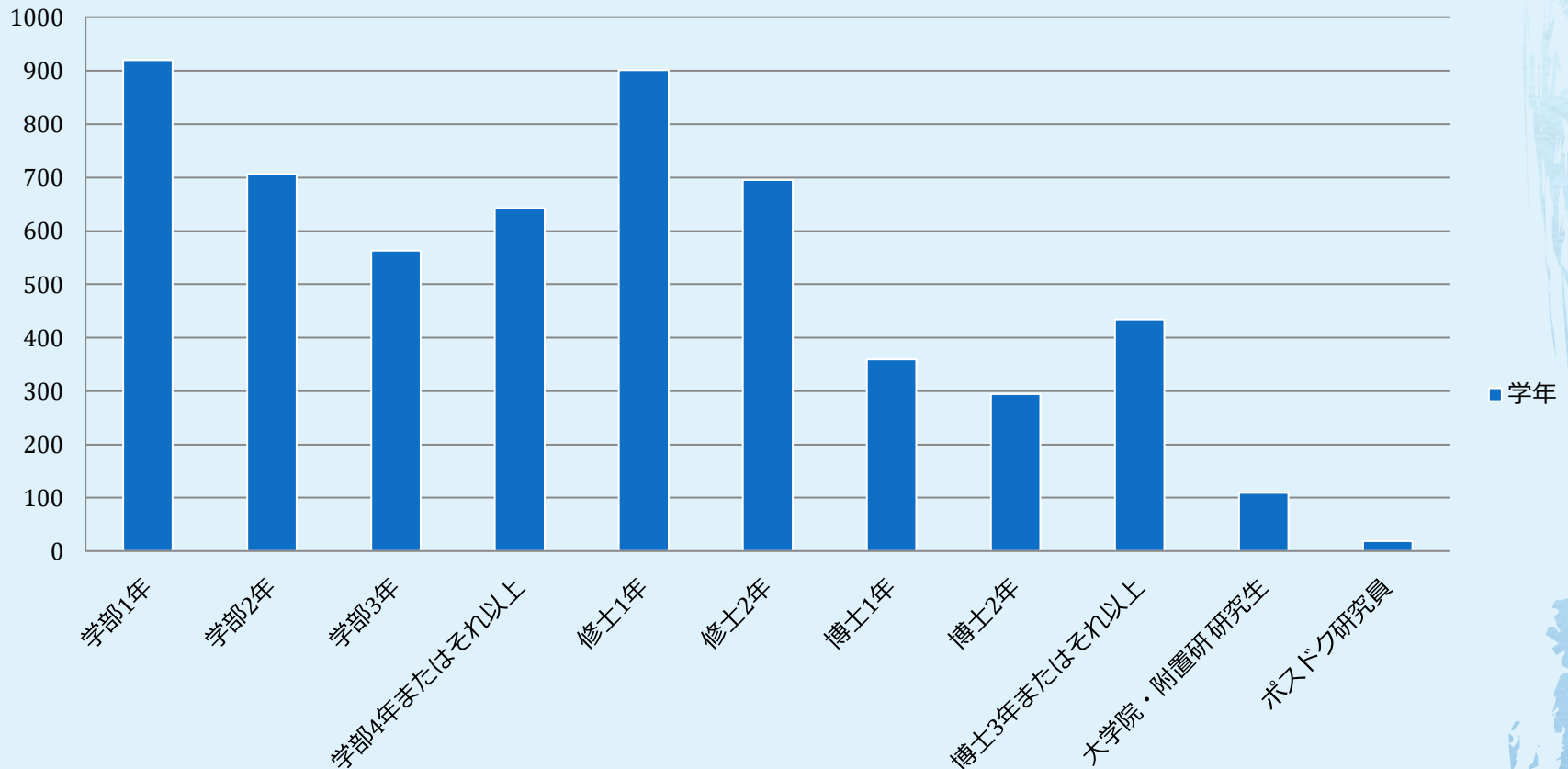
2020/09/04

実施対象・方法

- ◆ 「教員以外全員」を対象に「オンライン授業・在宅研究に関して」実施
- ◆ 7/22 – 8/20
- ◆ 回答数 5702
- ◆ うち授業を1つでも受けた人の回答4822

回答数（学年別）

回答数



◆ 学部1学年3000名程度（学部生回答率20-30%程度）

今回注目した課題

- ◆ 夏学期にはオンライン授業の良い点も見いだされ、ある程度満足するという一方
 - ◆ 課題が重い（課題地獄）
 - ◆ 登校できない（友達と交流できない、新しい友達を作れない）

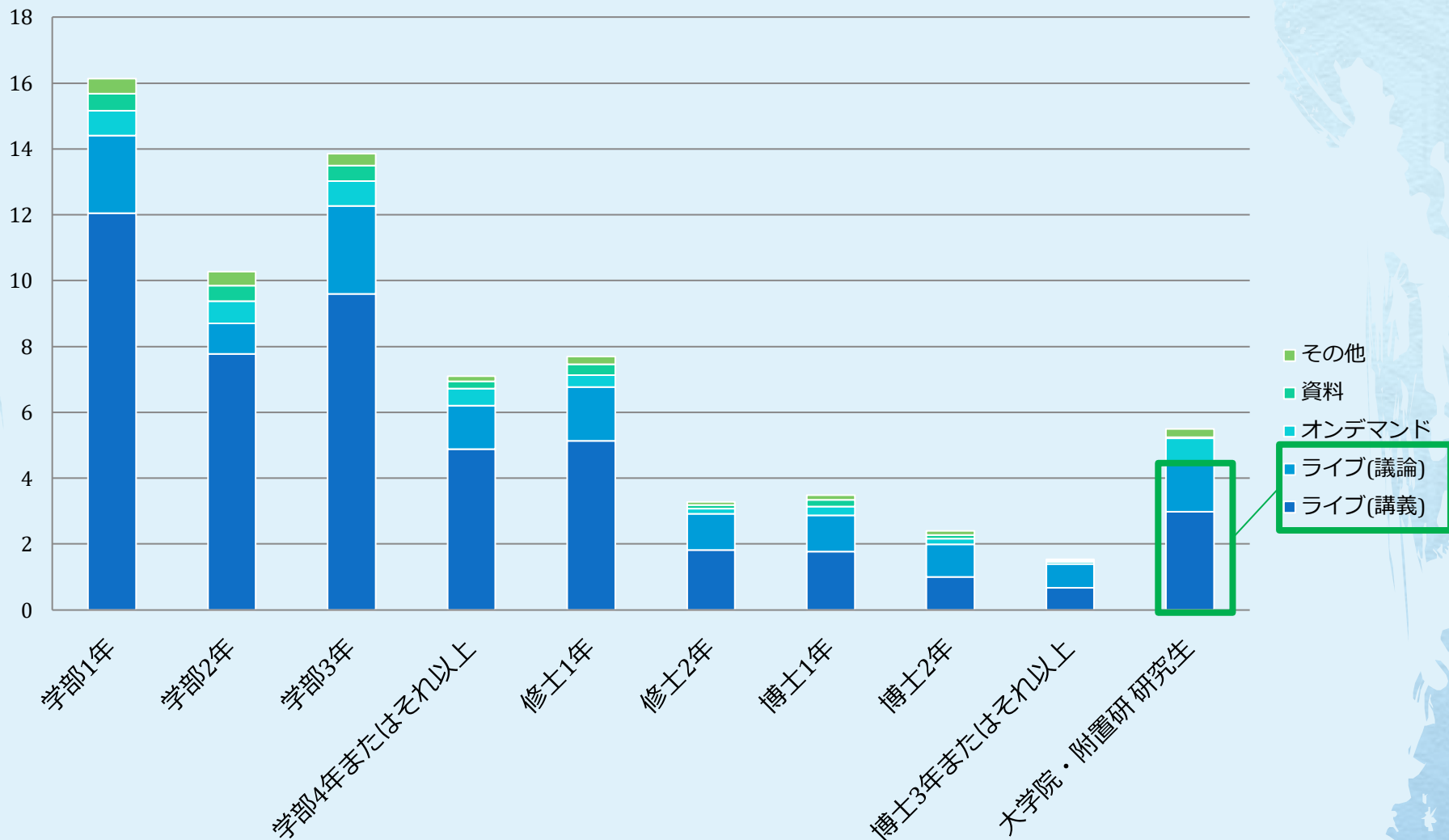
ことへの苦しみが聞かれていた

授業や課題の負荷

Q. 週に受けているオンライン授業のコマ数(ほとんど出席していないものは除く)を, 形式ごとに教えてください。

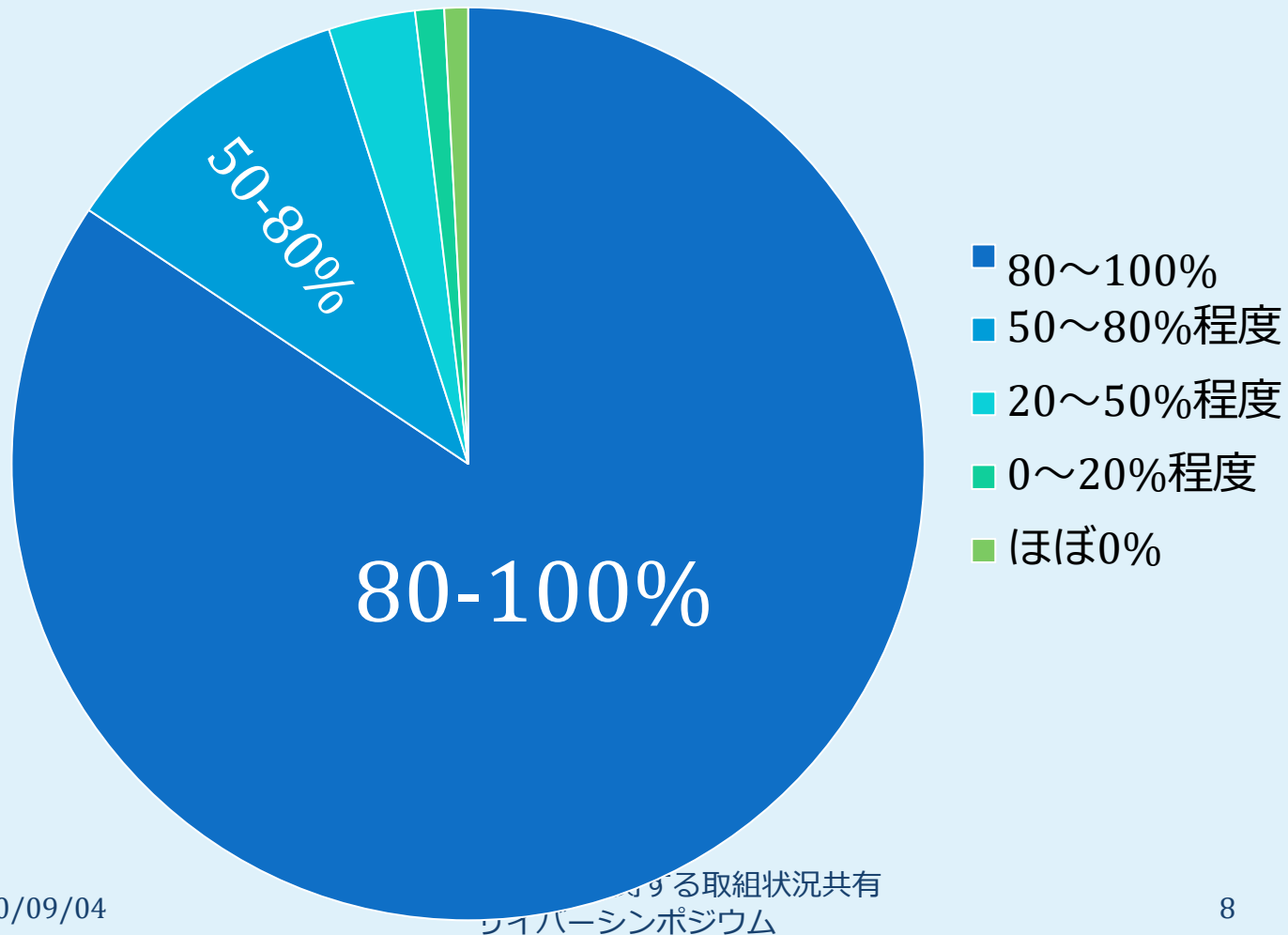
◆ 形式：

- ◆ ライブ（講義）：教員による講義中心の授業
（通常、ある程度大人数）
 - ◆ ライブ（議論）：学生による議論中心の授業
（通常、少人数）
 - ◆ オンデマンド：録画されたビデオの配信
 - ◆ 資料：資料配布と自習中心
 - ◆ その他：上記の混合など
- ◆ 一コマ = 105分 x 13回分



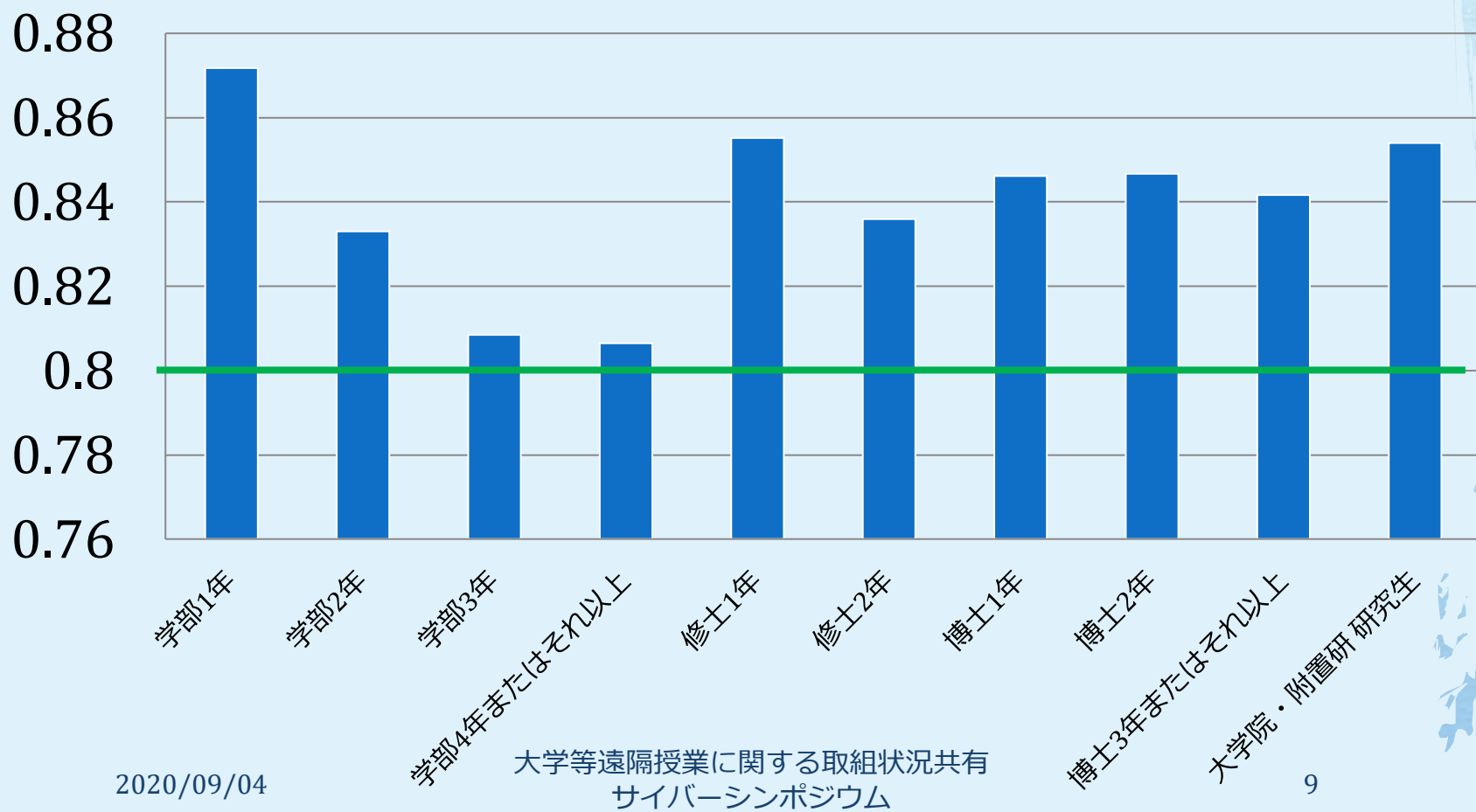
- ◆ ほとんどがライブで行われていた
- ◆ 1年生の平均：16コマ/週（1日3コマ以上）

- ◆ Q. ライブで行われている授業の出席率(実際にライブで聞いている割合)はどのくらいですか?
- ◆ ほとんどが80%以上



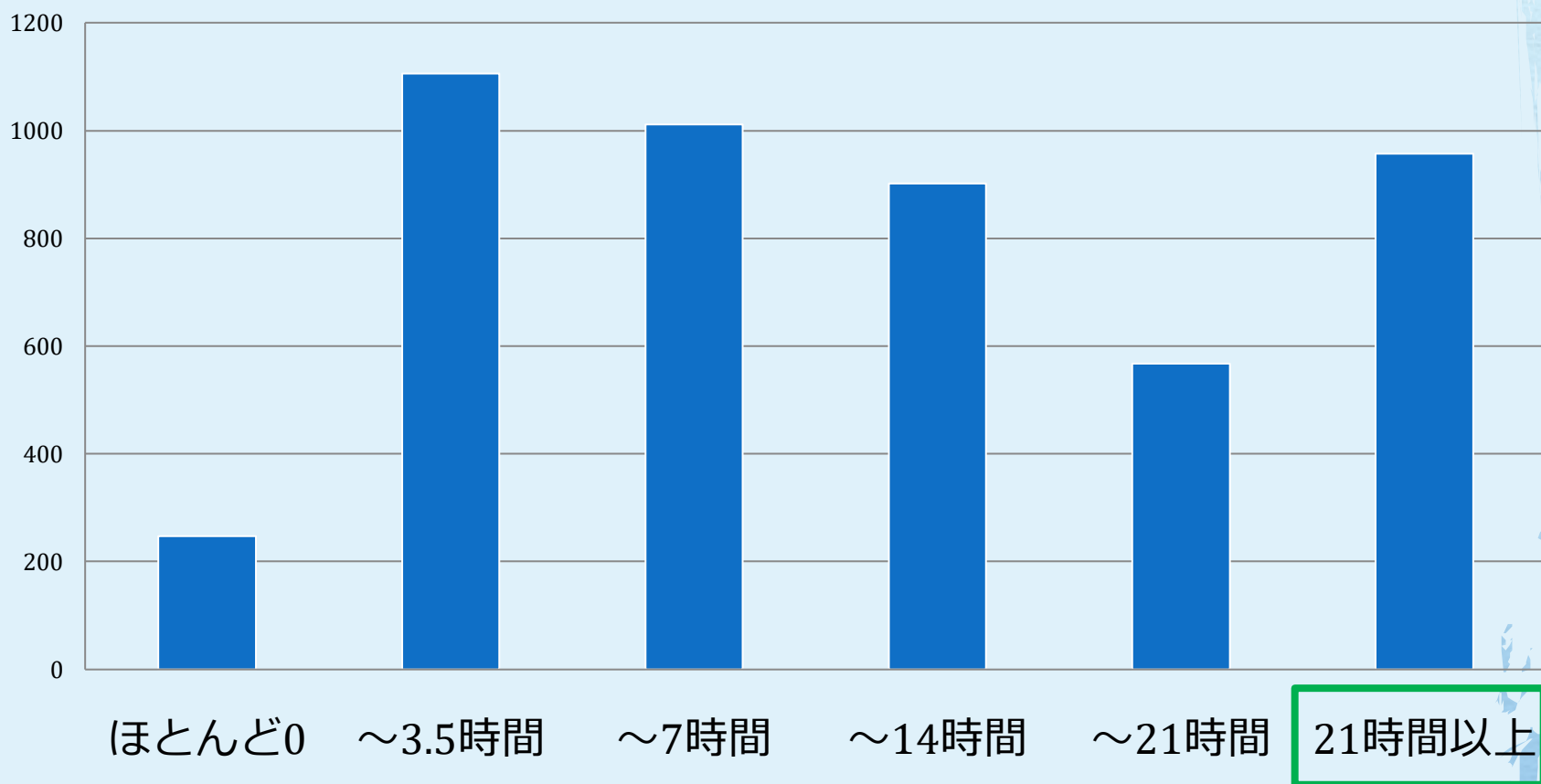
学年ごとの平均出席率

◆ 全学年で平均80%以上（一年生87%）



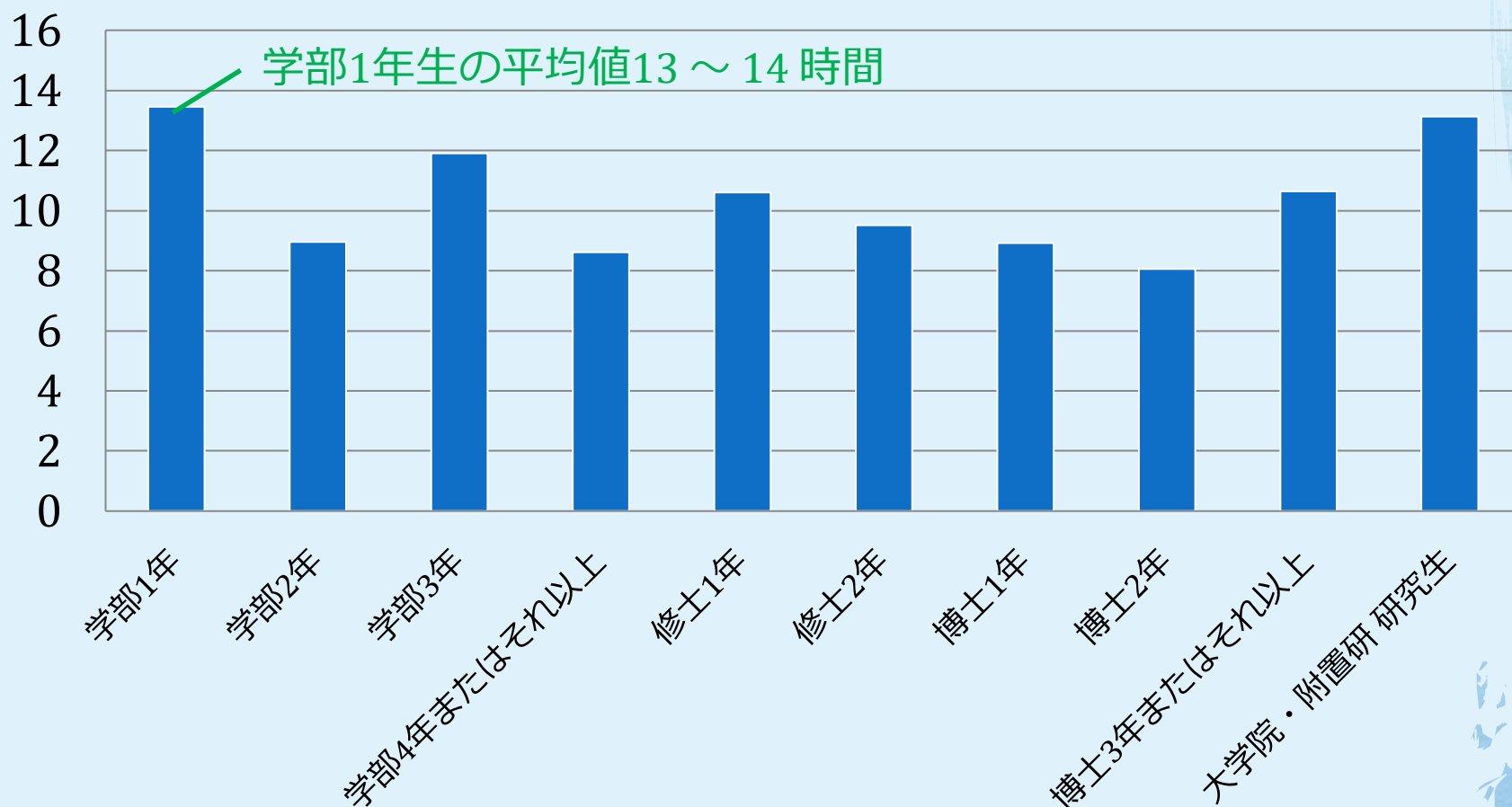
Q. 授業に参加している以外(予習, 復習, 課題など)で平均週何時間を大学の勉強に使いましたか?

◆ 選択肢が21時間まででは足りなかった模様...



学年ごとの平均分布

- ◆ それぞれのレンジの平均は中間値、21時間以上の平均値は25時間、と仮定して平均を計算



平均像

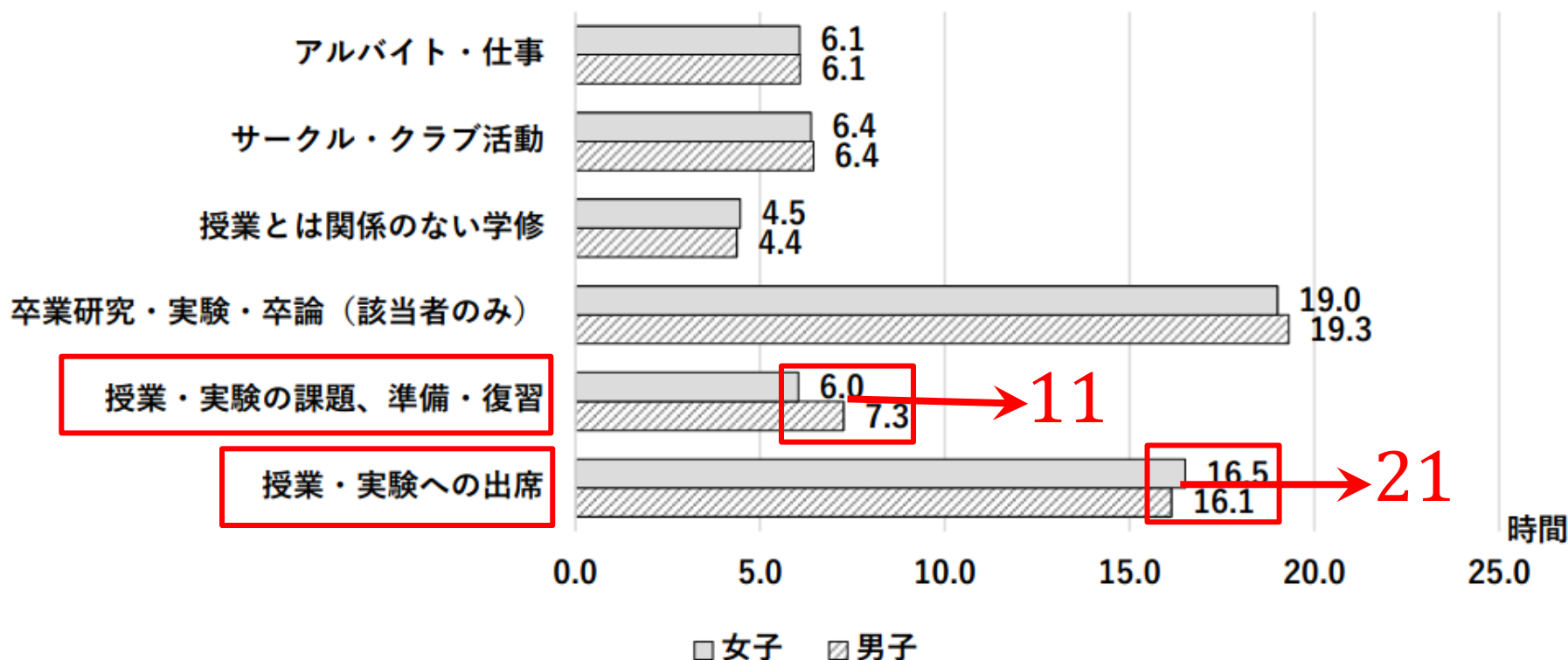
	授業時間	授業外学習時間
学部生1-4年平均	21時間	11時間
学部1年生のみ平均	28時間	14時間

◆ 例年と比べるとどうなのか？

例年との違い

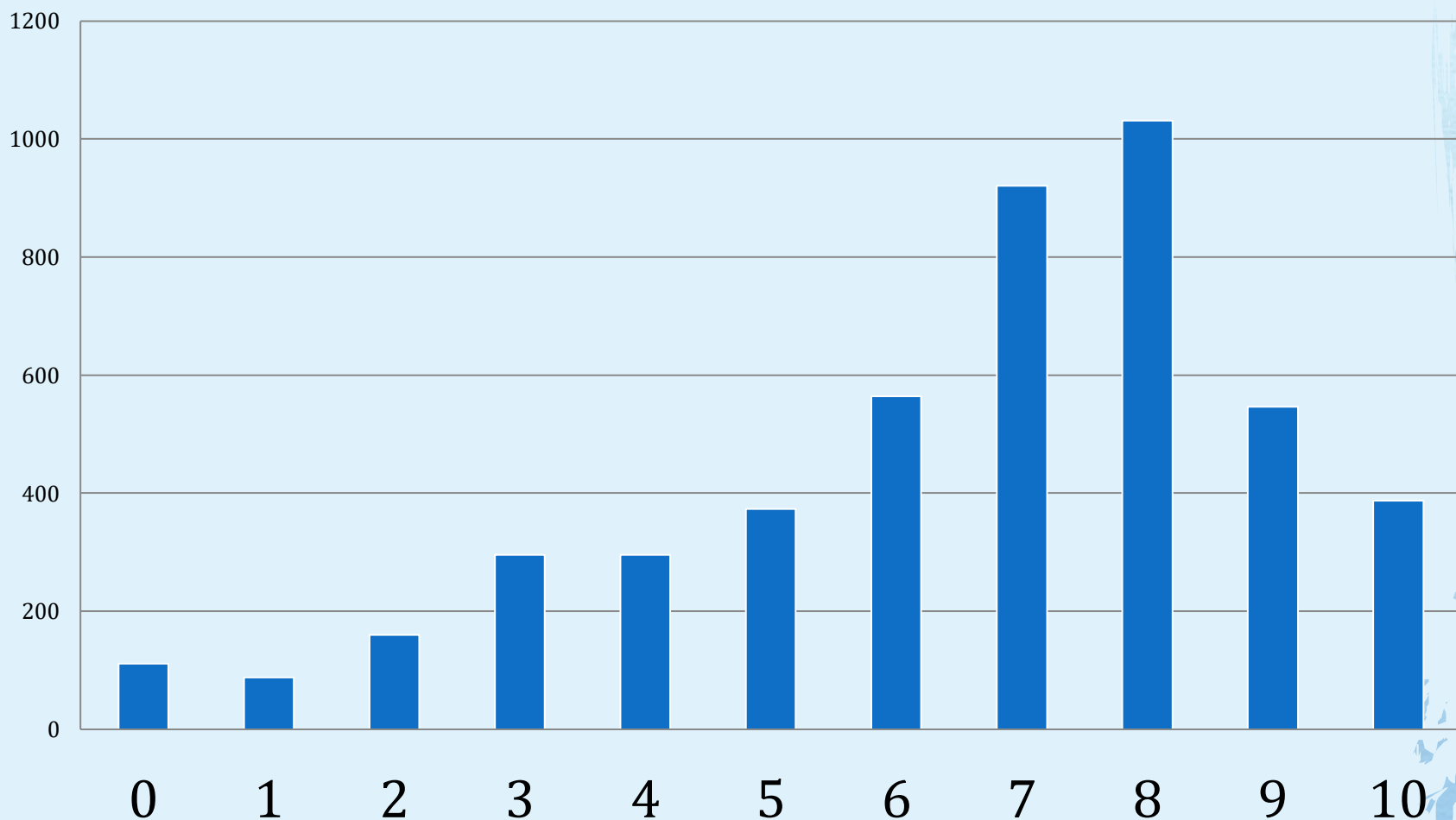
◆ 学生生活実態調査

◆ 2018年度版 p51

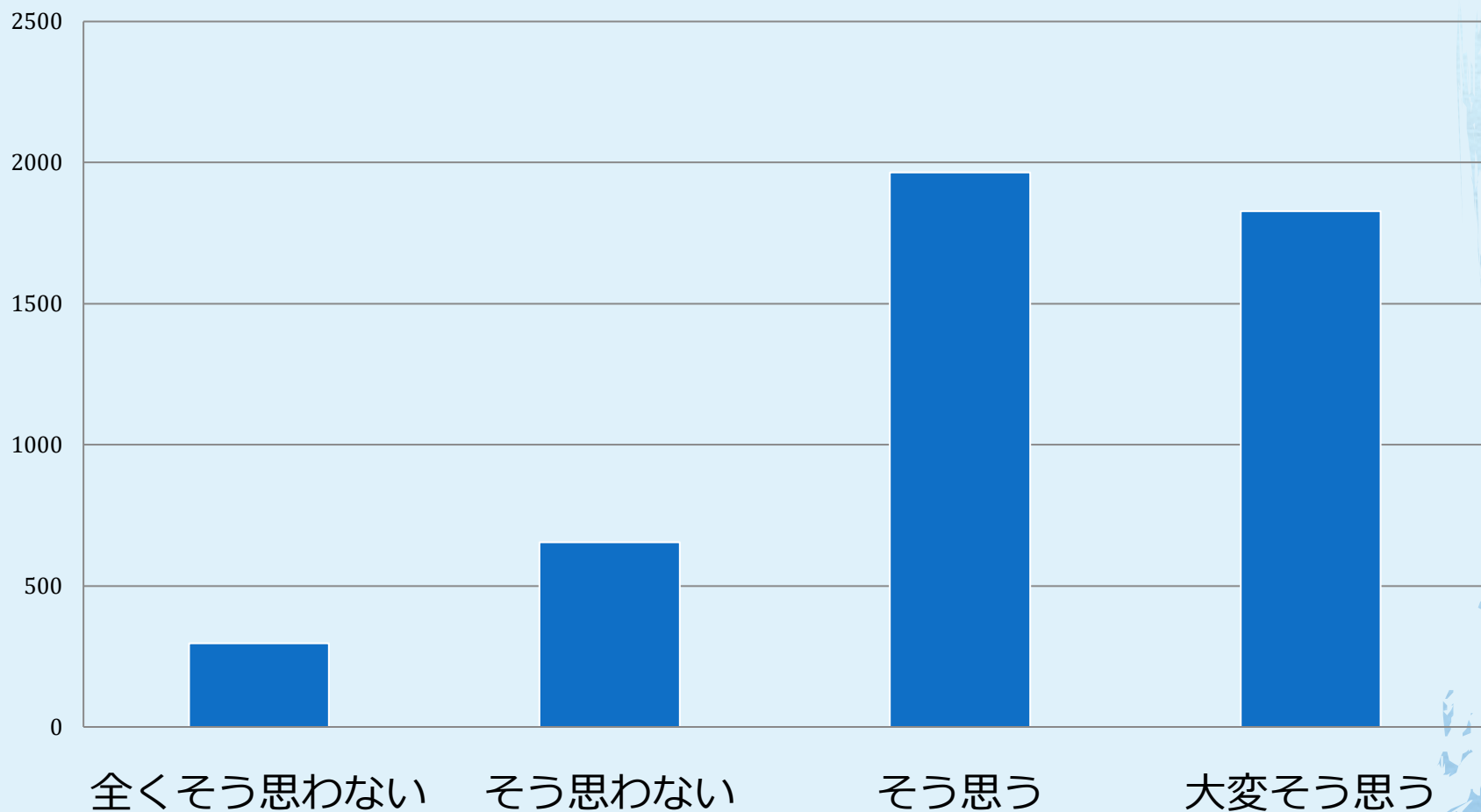


オンライン授業に対する評価

Q. この3か月間のオンライン授業に対する、あなたの総合的な評価を教えてください（0-10）。



Q. 今後、オンライン授業を授業形態の1つとして取り入れてほしいですか？



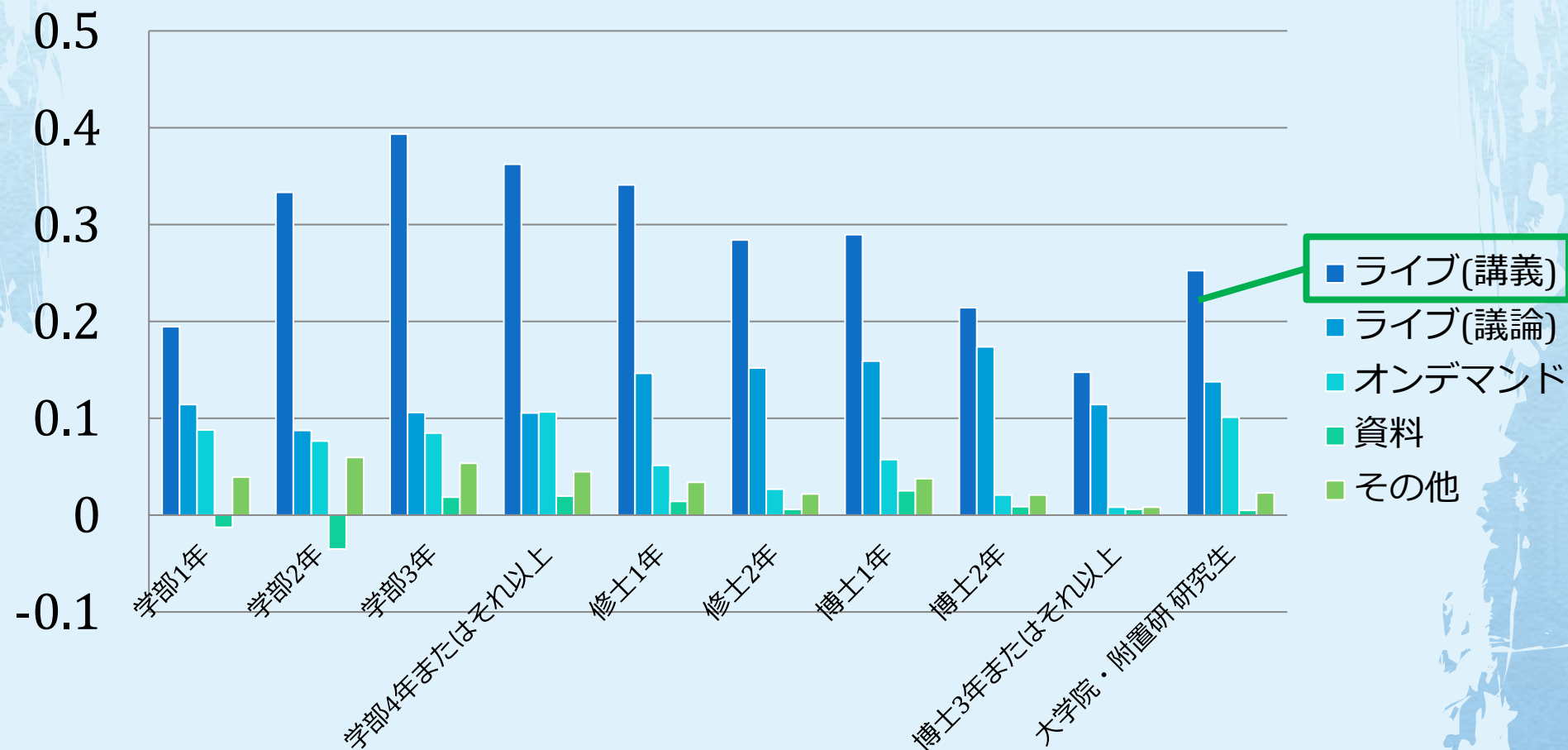
Q. オンライン授業の形式ごとの評価を教えてください

◆ 選択肢：

- ◆ 全く良くなかった (-2)
- ◆ 良くなかった (-1)
- ◆ どちらともいえない (0)
- ◆ 良かった (1)
- ◆ 大変良かった (2)

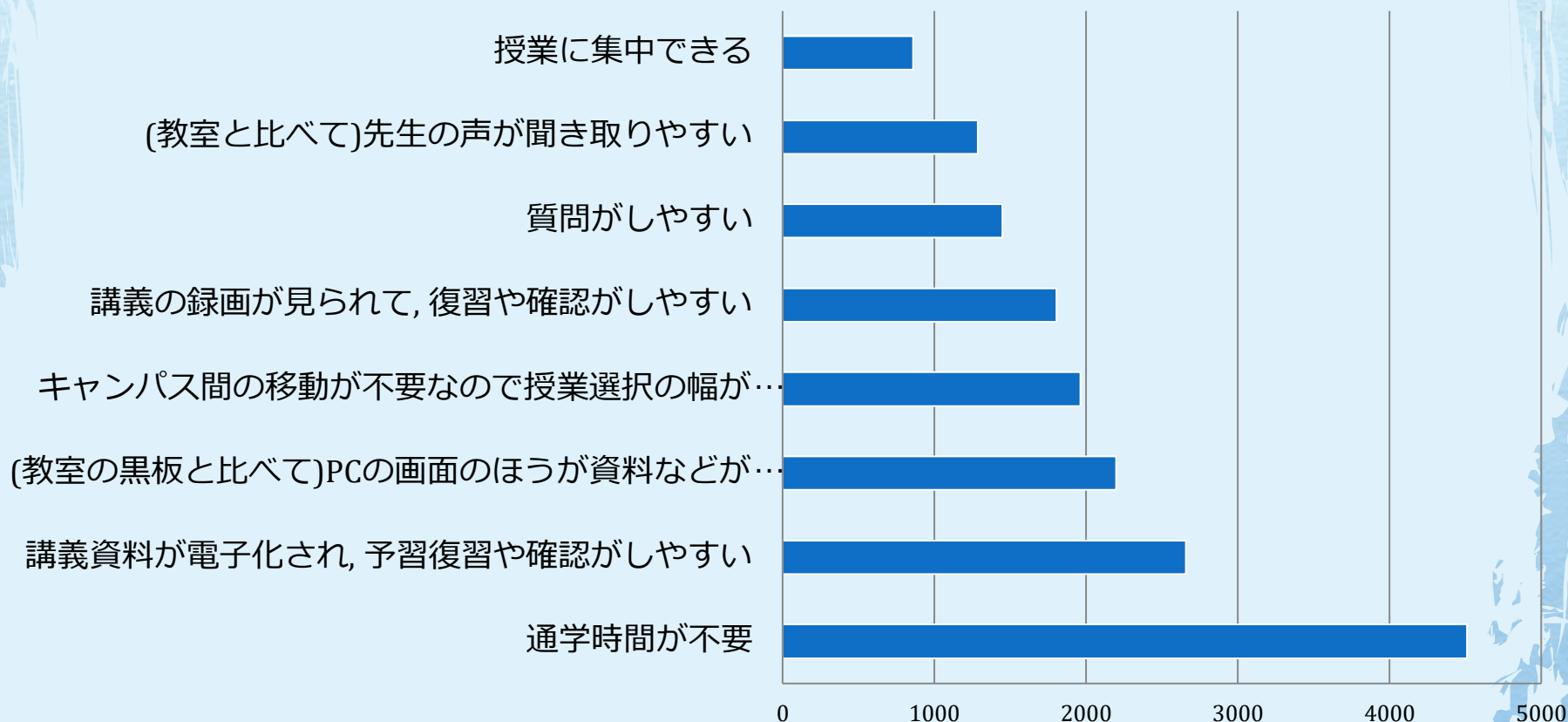
形式・学年ごとと評価値平均(-2～2)

◆ ライブ（講義）の授業が相対的に高評価



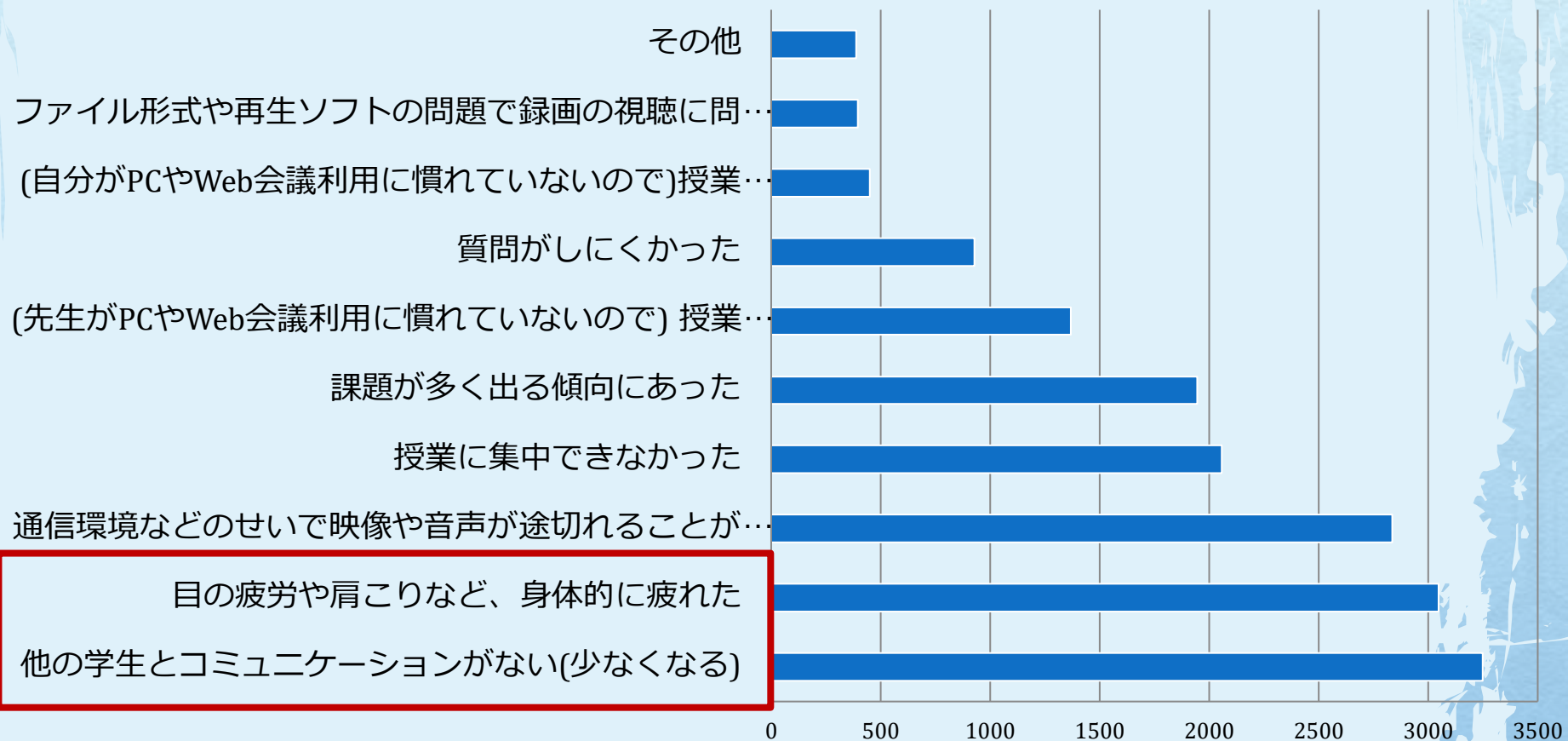
オンライン授業の良かった点

- ◆ オンライン授業が, 対面授業より良いと感じた点にチェックをしてください (複数選択可 + 「その他」)

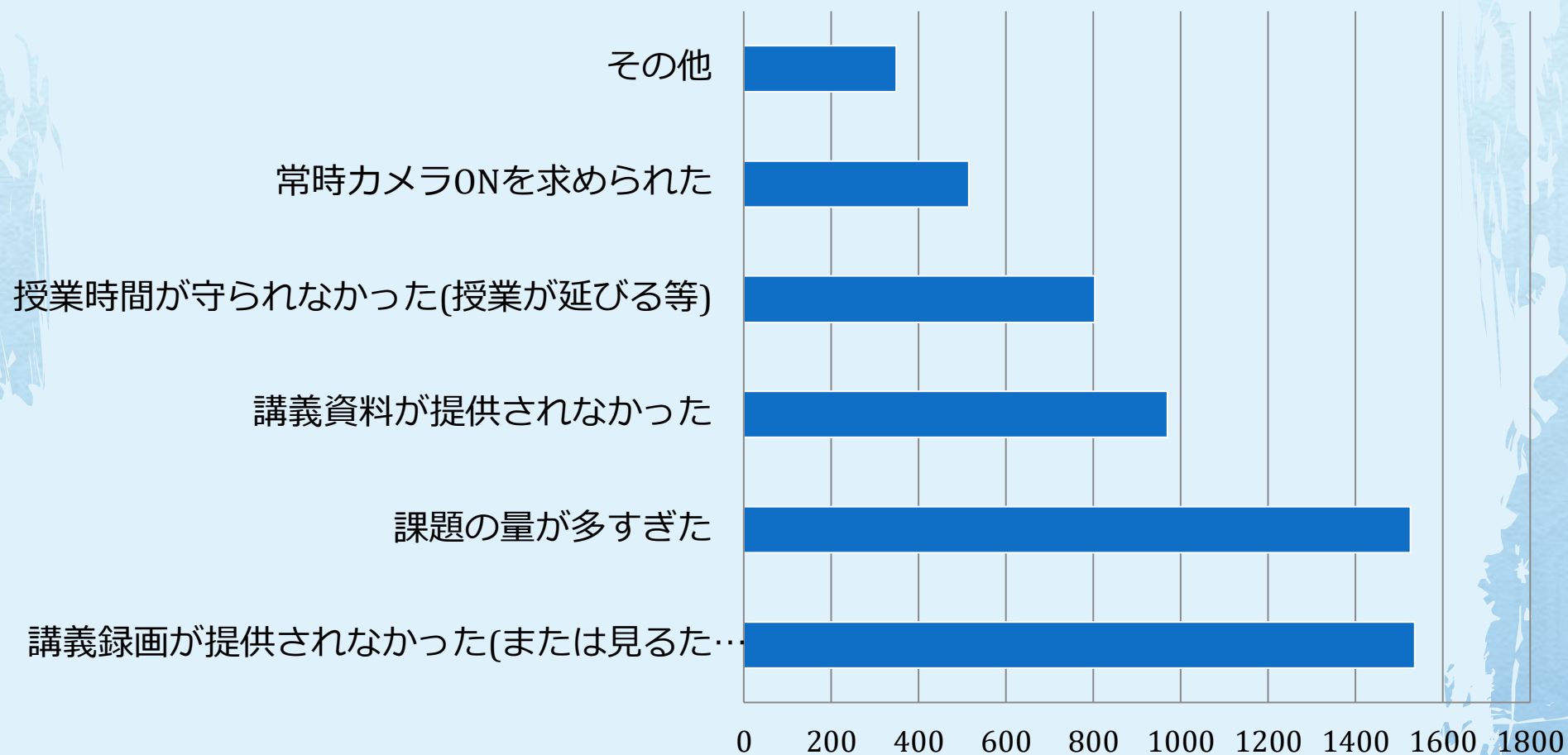


悪い点

- ◆ オンライン授業を受けてみて感じたデメリットをチェックしてください



Q.受講したオンライン授業で実際に経験し、「やめてほしい」と思ったことがあればチェックしてください



まとめと今後へ向けて（私見）

- ◆ 夏学期にほとんどの大学は「教育を止めない」ことに懸命の努力・貢献をした
- ◆ オンライン授業自体は評価されているが課題負荷に注意
- ◆ 何よりも登校できない（友達と会えない）苦しみは大きい
- ◆ ⇒ 今後は夏学期の繰り返し（ほぼ100%オンライン）をしても同じ評価にはならない
- ◆ もとより大学がそれを目指すわけではないので「対面とオンラインの混合」が必然
- ◆ 2020冬学期は登校の機会づくり、学生の精神面ケア、課題負荷への配慮、という観点でそれが必須
- ◆ これをやらずに「オンラインは全部ダメ」ということになっては教育の進化を止めることにもなりかねない
- ◆ コロナ後「昔に戻らない」ために重要な第一歩が2020冬学期